

■児童・生徒の学力の状況

○「全国学力・学習状況調査」の結果から、国語では図表やグラフなどを用いて書き表し方を工夫すること、算数では図形の面積について記述で説明することの平均正答率が低い。  
 ○RSTの結果からは、標準的な学力は有しているものの、若干DEP(係り受け解析)の力が弱いことが分かる。  
 ○TOFASの結果からは、漢字・計算の基礎的な技能はほとんどの児童が身に付けているが、クラス内での学力差が顕著であり、個に応じた指導の充実が求められている。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題  
 ※「読み解く力」の育成を踏まえて

・教科書を使って学んではいるが、主述関係の把握や用語の理解が徹底しているとまでは言えないため、より一層教科書をしっかりと読み込む授業を推進したい。  
 ・教員間のスキルの格差を是正するためのOJT研修を実施し、教科指導や生活指導などのスキルの向上を図る。  
 ・教職員のアンケートから浮かび上がった「書くこと」の課題を解決できるよう、「ふりかえり」の書き方の指導を工夫し、読み解く力の育成を踏まえた授業研究を進める。

■学校経営方針より(学力向上に関わる内容から)

○板橋区授業スタンダードの徹底 ・「めあて」と「ふりかえり」 ・問題解決型学習、協働学習  
 ○学習の流れの表示  
 ○読み解く力の育成をめざした授業づくり  
 ○ICTを活用したわかりやすい授業の実施 ・一人一台端末の活用 ・電子黒板等、ICT機器の活用  
 ○MIM・RSTの実施  
 ○特別な支援を必要とする児童への個に応じた指導の工夫  
 ○全学年で算数習熟度別少人数・TT指導の実施  
 ○放課後や夏季休業中の補習教室の実施  
 ○年間を通して読書活動を計画的に推進

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底	読み解く力の育成	総合的な学習の時間との連携
板橋区授業スタンダードに基づき、協働学習やICTを活用した学習、問題解決学習など主体的・対話的で深い学びを実現する授業を行い、思考力・判断力・表現力等を育成する。	説明的文章を扱った授業研究を行い「読み解く力」に関する国語科の校内研究を推進する。文章を適切に読み取ったり、必然性のある表現につなげたりする単元導入の工夫を行う。	「総合的な学習の時間」においては、SDGs目標⑩「住み続けられるまちづくり」を核とし、系統的、教科横断的な探究学習を行い、「郷土愛の育成」を図る。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	カリキュラム・マネジメントの推進	ICT環境の適切な維持と活用 個別最適な学び・協働的な学びの実現
・加賀中学校、金沢小学校と学びのエリアにおける義務教育9年間で目指す児童像を共有する。 ・近隣保育園、幼稚園との円滑な接続のために、夏季休業中に交流の機会を設け、職員同士の思いや願いを共有する。 ・郷土愛育成の観点から、総合的な学習を中心にSDGs⑩「住み続けられるまちづくり」の学習を進め、「板橋を自分の言葉で語る子」を育成する。	・単元配列表を有効に活用し、各教科と総合的な学習の時間や特別の教科道徳の関連性を意識したカリキュラムを実施する。 ・昨年度に引き続き国語科「書くこと」の指導の充実を図る校内研究を実施する。各学年は、研究内容を国語科だけでなく、他教科にも生かせるような「開いた学び」を心がけ研究を進めることとする。	・一人一台端末の活用としては、夏季休業中の宿題や朝学習などにおいて、ミライシードのドリルパーク機能やAIドリルを児童の実態に合わせた形で進める。 ・各学年週一回の放課後学習を実施し、学習の定着を図る。 ・オクリンクやジャムボードなどICTを活用した協働的な学びも行えるよう、指導者と児童のスキルアップを図る。